

# 緩和ケア

～病院と地域のシームレスな緩和ケアを考える～

---

ことう地域チームケア研究会

2022/11/10

彦根市立病院 緩和ケア認定看護師 秋宗美紀

# 今回のテーマの行き着く先は？

## 病院と地域のシームレスな緩和ケアを考える

『シームレスな緩和ケア』とは？

何が可能となれば、シームレスな緩和ケア？

# 症例の症状から考える



## 腹水貯留

- 利尿剤を内服してもらう？
- 腹水穿刺？
- 輸液を減らす？

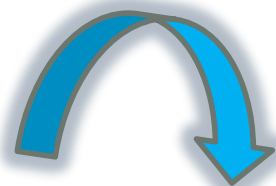
実際、腹水コントロールは非常に困難な症状の一つ

患者のQOLに大きな影響を与える

腹部膨満感・呼吸困難感・体動困難・経口摂取量の低下・・・

# 終末期の輸液量を決める際の手引き

終末期がん患者の輸液療法に関するガイドライン(2013年版)




予後の短い患者には  
500ml~1000ml/dayの輸液

# 予後を予測する

- PaP score
- D-PaP Score
- PPI
- PiPS

予後予測ツール

検索



予後予測ツールの使用→患者の状態把握  
カンファレンスでの情報共有

予後予測ツールはあくまでも目安

患者の日常から **観察力・想像力** を働かせる

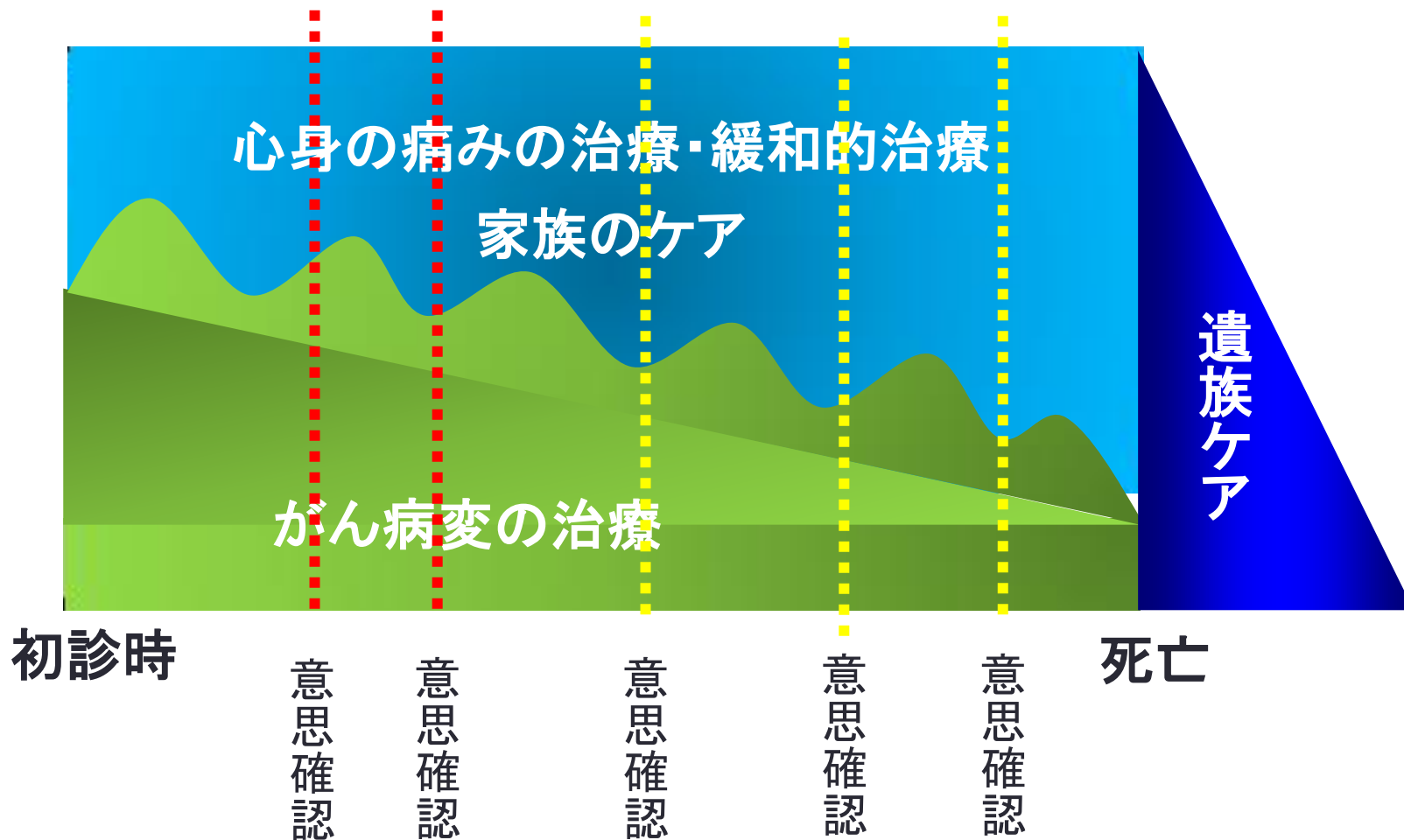
# 方針を決めるための5W1H

When	今、現在
Where	自宅で
Who	患者が
What	腹水による苦痛を取ってほしい
Why	楽になったら最後の旅行をしたい

**How**

腹水コントロール: 衰弱を最小限にするため腹水濃縮還元療法はどうか

# 繰り返し必要な意思確認



意思確認 = ACPの実践が重要である

# 最優先は『患者がどうしたいか』

医学的判断 + 患者の希望 + 家族の希望



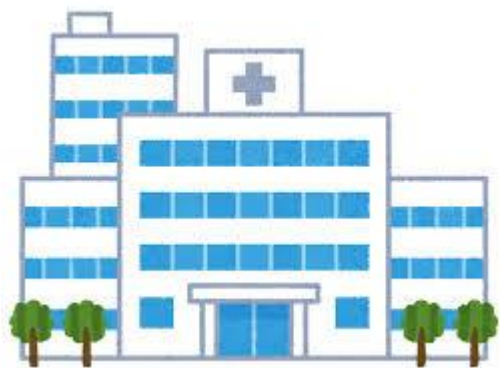
- ◆ やりたいこと
- ◆ やってほしいこと
- ◆ やってほしくないこと

患者の希望を叶える・支えるために、医療従事者が  
できる『アイデア』を搾り出す



# 今回のテーマを実現するために

## 病院と地域のシームレスな緩和ケアを考える



在宅療養支援



リソースの活用



- 医療処置
- 緩和ケア外来・緩和ケア病棟
- がん相談支援センター

患者の最善のために、携わるスタッフが連携し、各自の役割を果たす